

市川手見奈文学賞記念展

—15年のあゆみ—

2015.1.31(土)～3.1(日)



そよ風が
帯のようだと言う妻は
手見奈の歌を
口ずさみおり

第1回短歌部門大賞／神馬せつを

荒行の
終えて静かな
法華経寺

第5回川柳部門秀逸／矢吹勇

古き世の
木の香
鉄の香農具市

第1回俳句部門秀逸／望月晴美

[会場] 市川市文学ミュージアム
2階企画展示室

[休館日] 月曜日、2月27日

[開館時間] 平日 10:00～19:30/土日祝日 10:00～18:00
(入館は30分前まで)

[観覧料] 一般 200円、65歳以上 160円
高大生 100円、中学生以下無料

協力：市川手見奈文学賞実行委員会



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4

生涯学習センター 2階

TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356

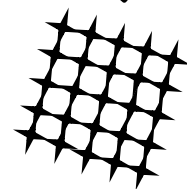
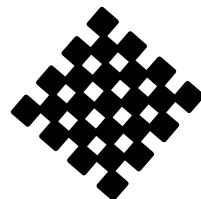
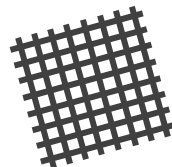
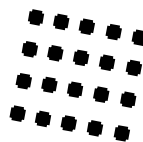
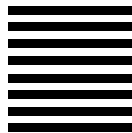
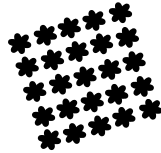
<http://www.citv.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>

市川手児奈文学賞記念展

—15年のあゆみ—

市川は〈葛飾の真間の手児奈〉が万葉集に詠まれて以来、その昔から多くの文学作品の舞台となってきました。市川手児奈文学賞は、2000年という新たな世紀を記念し、21世紀への新たな文化の扉を開こうと企画され、テーマを〈市川を詠む〉とし、短歌・俳句・川柳の三部門の作品を、市川市民はもちろん、全国から募集を受け付ける公募の文学賞となりました。第1回では1263点という作品数でしたが、15回目を迎えた本年はその6倍以上の作品が集まるようになり、海外からの応募や、字がかけられるようになったばかりの幼稚園生からの作品も、寄せられるようになりました。

本展は、〈市川を詠む〉をテーマに、これまで寄せられた数々の作品を市川の見どころとともに振り返り、新たな市川の魅力を発見できるような展示を行います。



□関連イベント□

■ワークショップ

「オリジナルかるたをつくってみよう!」

講師:仁科英子(美術家)

2015年2月22日(日)

14:00~16:00(受付 13:30)

対象年齢(5歳~大人まで)

参加費:300円

持ち物:絵札に書きたいものの資料(イラスト等)を持ってきてください

定員:20名

会場:市川市文学ミュージアム 3階第3研修室

申込:1月22日(木)より文学ミュージアムへ電話申込

■講演会

「高橋虫麻呂の詠む、『万葉集』真間の手児奈—「身をたな知りて」の死生観—」

清水 麻利子(手児奈文学賞選者)

2015年3月1日(日)14:00~(受付 13:30)

定員:40名 参加無料

会場:市川市文学ミュージアム 2階文学研修室

申込:1月22日(木)より文学ミュージアムへ電話申込

■ギャラリートーク

2月14日(土) 能村研三(手児奈文学賞選者)

14:00~(20分程度)/申込不要

文学ミュージアム 2階企画展示室に直接お集まり下さい
(参加に当たり、当日の展覧会観覧券が必要です。)

次回企画展のお知らせ

(仮称)「炎の人 式場隆三郎展」

会期:3月14日(土)~5月31日(日)

観覧料:一般300円

※展示内容、観覧料等ここに掲載されている情報は予告なしに変更される可能性があります。ご承知おきください。

 **市川市文学ミュージアム**
Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4

生涯学習センター 2階

TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356

<http://www.citv.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>

【交通案内】



【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩 15分

【都営新宿線】本八幡駅より徒歩 20分

【京成線】鬼越駅より徒歩 10分

【車】京葉道路 市川インターから 5分